

みやぎのだより

No. 124

みやぎの酪農農業協同組合広報誌

令和3年9月28日



飼料用トウモロコシ刈取り風景

CONTENTS

全酪連役員改選について……………	1	令和3年度 生乳生産実績……………	9
配合飼料価格の値上げ要因と今後の見通しについて…	2	ミルクキャンペーンキャラクター募集のお知らせ…	9
オーチャードグラスの播種時期について……………	5	理事会通信……………	10
アニマルウェルフェアに配慮した家畜の衛生管理について…	6	人事のお知らせ……………	10
飼料情勢……………	7	売りたいし、買いたいし……………	11
酪農動向調査について……………	8	編集後記……………	11
表紙を撮影された伊藤さんのご紹介……………	8		

～砂金会長が退任されました～

7月20日に開催された全国酪農業協同組合連合会の第72年度通常総会におきまして任期満了により役員改選が行われ、平成19年7月より14年間にわたり会長職を務めてこられた砂金甚太郎会長が退任されました。

6月18日開催の理事会において、年齢的なことと後継者を育てたいということを理由に全酪連通常総会終了後に退任する意向を伝え、出席した理事、監事より了承されておりました。

7月30日の理事会の席で、「全酪連の発展に微力ながら貢献できたのは、皆様のお力添えと多くの方に支えられてのこと」と感謝の意を表し、その他、国内の酪農情勢に触れ、「都府県を中心に酪農家戸数の減少傾向が続いている状況の中、全国の乳用牛の頭数は増頭に転じて、生乳生産量も横ばいから回復基調に向かっているなど、明るい兆しも見えている。一方、飼料原料価格の高騰や高水準な乳製品の在庫など新たに対応すべき問題も生じている」旨を説明され、酪農家の育成の重要性についても話されました。

砂金会長には、全酪連の理事就任から会長職まで通算23年間の長きにわたり、酪農・乳業の発展にご尽力いただきましたことに深く感謝申し上げますとともに、これまで以上にご指導とご鞭撻くださいますようお願い申し上げます。大変お疲れさまでございました。

なお、退任後は新たに全酪連の顧問に就任しております。当組合の代表理事会長、(一社)全国酪農協会会長、中央畜産会常務理事等の職はこれまでどおりです。



第72年度全酪連通常総会であいさつを述べる砂金会長

～伊藤一成組合長が全酪連副会長に就任されました～

この度の全酪連役員改選において、当組合の伊藤一成組合長が新たに副会長就任されました。「今後、酪農家のために少しでも貢献できるよう鋭意努力していく」旨を述べられました。

配合飼料価格の値上げ要因と今後の見通しについて①

購買課

昨年の後半より配合飼料価格の大幅な値上げが1年にわたり続いております。配合飼料の値上げ要因と今後の情報について掲載致します。

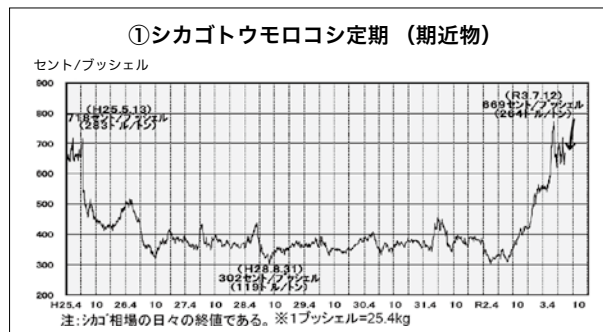
○牛用配合飼料価格の推移(令和2年度以降)

令和2年度第1四半期(4～6月)……値下げ 800円/トン
令和2年度第2四半期(7～9月)……値下げ 500円/トン
令和2年度第3四半期(10～12月)…値上げ 1,800円/トン
令和2年度第4四半期(1～3月)……値上げ 3,900円/トン
令和3年度第1四半期(4～6月)……値上げ 5,400円/トン
令和3年度第2四半期(7～9月)……値上げ 4,700円/トン

上記は、令和2年度以降の配合飼料の価格改定の推移です。令和2年度第3四半期(10～12月)より4期連続で値上げが続いており、近年にない高価格で推移しております。

○配合飼料の決定要因とその状況

配合飼料の決定要因には、①シカゴトウモロコシ定期の価格動向(主原料) ②植物性油粕(大豆粕等)の価格動向 ③糟糠類(フスマ等)の価格動向 ④海上運賃の動向 ⑤外国為替相場があり、昨年より影響の大きい①トウモロコシ価格・②大豆粕価格・④海上運賃要因について、価格推移状況を見てみます。その後、為替と影響が多岐に渡る原油動向についても説明させていただきます。



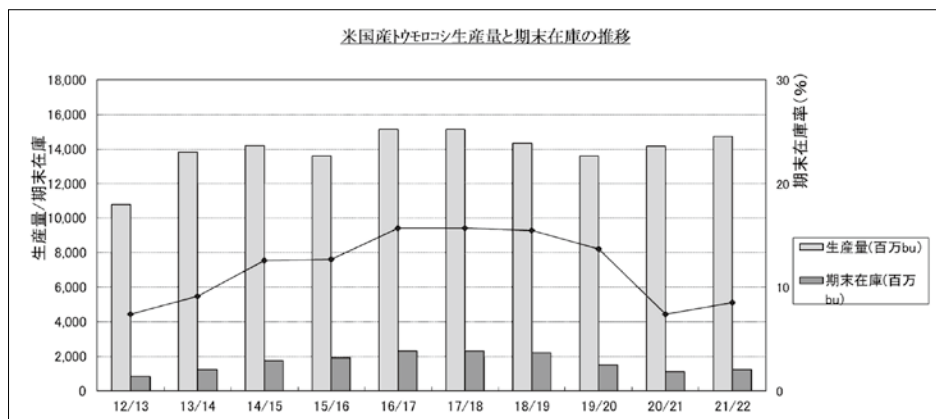
トウモロコシのシカゴ相場(期近物)は、令和2年3月から8月頃にかけて、エタノール向け需要の減少や米国での豊作期待等を背景に3ドル/ブッシェル台前半で推移していましたが、9月以降、中国向け輸出成約の増加や南米産の作況悪化懸念等により上昇しました。令和3年4月末には約8年振りに7ドル/ブッシェルを突破し、7月は6ドル/ブッシェル台中盤で推移しました。

配合飼料価格の値上げ要因と今後の見通しについて②

大豆油粕のシカゴ相場(期近物)は、令和2年4月以降、概ね300ドル/トンを下回って推移していたが、9月以降、中国の飼料需要の拡大等により上昇し一時は400ドル/トン後半まで上昇したが、令和3年7月は300ドル/トン中盤で推移しました。

海上運賃(フレート)は、船腹需要の減少によって令和2年5月には40ドル/トンを下回っていましたが、以降は需要の増加により上昇し、令和3年7月には81ドル/トン程度で推移しました。

○8月12日米国農務省トウモロコシ需給予想、および今後の見込み



新たな穀物年度21/22(2021年9月～2022年8月)の生産および期末在庫予想が発表されています。前年度の2021年8月末在庫率7.4%に比べ、新年度の2022年8月末在庫率は8.5%と増え、シカゴ相場は5～6月の最高値時より下がっているものの、期末在庫8%台は依然タイトな状況です。米国でのトウモロコシ生育状況は、北西部でのコンディションが悪く米国全体の生産量の足を引っ張っている状況であり、南米でも生産量の下方修正が行われ、依然として需給の逼迫感が続いていることから相場は引き続き堅調に推移する見込みです。

最近の大豆粕情勢は7～9月期平均に比べ安値にあるものの、中国産大豆粕は現地価格が引続き堅調なことと近海船フレートの上昇より相場は底堅く推移しており、国産大豆粕は、引続き先行き不透明な状況にあることや、輸入大豆価格が高止まりしていることから強気の相場展開が続いております。

海上運賃は、鉄鉱石・石炭の輸送に用いられるケープ船型の傭船料が5～6月に大幅上昇した後、7月は軟調に推移しましたが、ブラジル出しの鉄鉱石が好調となり8月に入り再度上昇しております。今後はブラジル産コーン、米国産大豆、黒海産穀物の船積に需要がシフトしていく見込みですが、中国による鉄鉱石輸入ペースは引き続き好調であり、相場を牽引しているため引き続き注意したい状況です。

為替(ドル円)相場の見通しについて

○米国経済の回復が順調なら円安進行の流れ

米ドルは基軸通貨とも言われ、現在でも国際間取引における決済の約6割は米ドルが利用されています。直近のドル円相場では2021年の年始に1ドル105円程度で推移していた為替が、7月末の時点では110円前後まで円安に振れています。これは米国で1ドルの商品が年始には105円で買えたのに今では110円必要になるということで単純に為替だけで考えると輸入品は約5%値上がりしていることになります。この為替に加え、現地価格の上昇や海上運賃といった各種費用の上昇が、輸入品が大

半の牧草や飼料用穀物価格の値上げに拍車をかける状況になっています。

新型コロナの影響で経済活動の低下を防ぐため、各国は市場に出回るお金の量を増やす量的緩和と政策金利の低下を実施してきました。その後、ワクチン接種が順調に進み、経済が回復基調となってきた今は、基軸通貨を扱う米国が景気の急回復によるインフレを抑制するためのテーパリング(量的緩和の縮小)をいつ行うかが焦点となっています。

テーパリングとは中央銀行による債権購入量を減らすことで、債券購入が減少すれば市場に供給されるお金の量が減ることになり、金利の上昇要因になります。その結果、金融緩和が続き低金利状態の日本と米の金利差が拡大してしまうと米ドル建ての借入金返済や預金で金利が高いドルにお金が集まるため、円を売ってドルを買う動きが加速して、円安が進行してしまいます。テーパリングは経済回復が順調に続けば年内～年度末に行われると言われていますが、世界各国でコロナ感染が再拡大しつつあるため、今後その通りに行われるかは不透明な状況です。

原油価格について

○コロナ感染が収束するか否かで上下動、今後はイスラム系テロ組織の活発化の懸念も



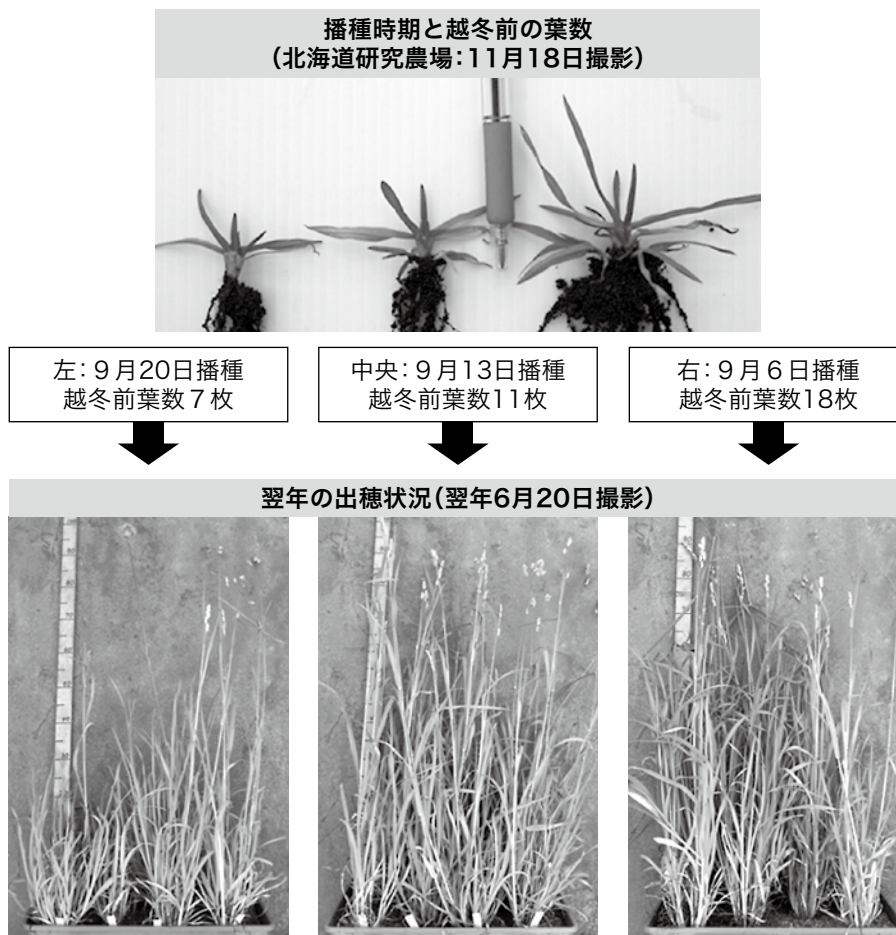
昨年3月のコロナ感染拡大初期に、経済活動の停滞懸念から一時マイナスをつけるほど下落した原油価格は、産油国が需要減に合わせて減産しましたが、その後のワクチン接種拡大で需要が回復していることを受け、コロナ前の水準に回復しています。先ごろでは、米のバイデン大統領が原油価格の急上昇による景気への影響を懸念し、産油国に増産を求める声明を発表しています。

しかし直近では、米国内は元より世界中でデルタ株によるコロナウイルス感染拡大で状況が悪化しつつあるため、原油価格は激しく上下動しています。また、アフガニスタンのタリバンが中東のイスラム系テロ組織を活発化させる恐れがあり、日本への原油輸送の8割で利用されるホルムズ海峡の地政学リスク再燃により乱高下する可能性があります。チベット・香港・台湾問題も絡んで悪化する米中関係の行方も注視が必要です。

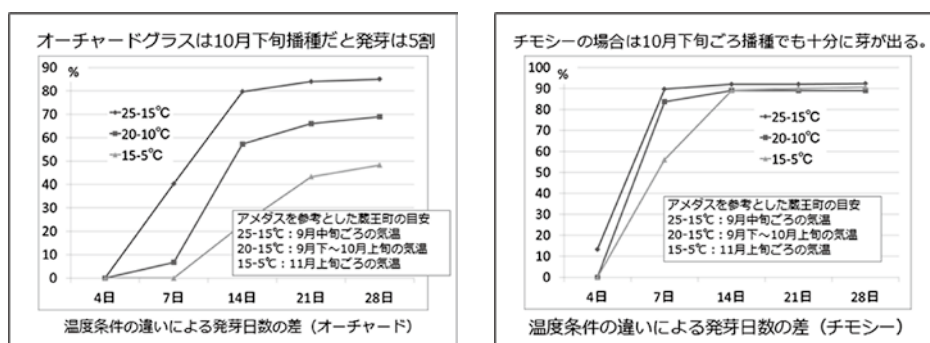
オーチャードグラスの播種時期について

購買課

オーチャードグラスは、ある程度の大きさまで成長してから低温に当たる(冬越しする)ことによって、はじめて出穂する特性があります。オーチャードグラスの個体が10葉期程度まで成長してから冬越しすることにより、初めて穂が出ます。そのため、秋播きする場合は、越冬前に10葉期程度(できれば20葉期程度)まで成長するように、早めに播種を行います。一方チモシーは低温に当たらなくても出穂する特性があります。そのため、秋播きはどの播種時期に播いても翌年は出穂しますし、春播きでは播種当年に出穂します。



オーチャードグラスはチモシーよりも低温発芽性(低温で芽が出る能力)が劣ります。仮にオーチャードグラスを温度条件5～15℃(蔵王町では大体10月下旬以降の温度帯)に播種した場合は、発芽率は50%程度まで低下すると予想されます。蔵王町の場合は、9月中旬～下旬前後に播種するのが望ましいと思われます。適切な時期に播種することで自給飼料を増産しましょう。



何かご不明な点がございましたら、各所 購買担当までご連絡ください。

○ アニマルウェルフェアとは？

アニマルウェルフェアとは、感受性を持つ生き物としての家畜に心を寄り添わせ、誕生から死を迎えるまでの間、ストレスをできる限り少なく、行動要求が満たされた、健康的な生活ができる飼育方法をめざす畜産のあり方です。欧州発の考え方で、日本では「動物福祉」や「家畜福祉」と訳されてきました。

1960年代のイギリスでは、工業的な畜産のあり方を批判した、ルース・ハリソン氏の『アニマル・マシーン』が出版され、大きな関心を呼びました。イギリス政府が立ち上げた委員会は、「すべての家畜に、立つ、寝る、向きを変える、身繕いする、手足を伸ばす自由を」という基準を提唱します。こうした動きを受け、家畜の劣悪な飼育環境を改善させ、ウェルフェア(満たされて生きる状態)を確立するために、次の「5つの自由」が定められました。

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1. 空腹と渇きからの自由 | 4. 正常な行動を発現する自由 |
| 2. 不快からの自由 | 5. 恐怖や苦悩からの自由 |
| 3. 痛みや傷、病気からの自由 | |

今では、「5つの自由」は家畜のみならず、人間の飼育下にあるペットや実験動物など、あらゆる動物のウェルフェアの基本として世界中で認められています。

○ 乳用牛及び肉用牛におけるアニマルウェルフェアの考え方に対応した飼養管理指針のポイント

1. 管理方法

- ・牛が快適に飼養されていることを、健康状態などの観察により把握・記録すること。怪我・病気の発生予防等に努めること。
- ・牛を丁寧に扱うこと、除角などを行う際は、可能な限り苦痛を生じさせない方法をとること。また、断尾を行わないこと。
- ・農家内における防疫措置等を適切に実施すること、飼養する施設・設備を清潔に保つこと。
- ・牛の管理者・飼養者等のアニマルウェルフェアへの理解の促進を図ること。

2. 栄養

- ・牛の発達状態に応じ、必要な栄養を含んだ飼料と、十分な量の新鮮な飲水を給与すること。

3. 牛舎の環境等

- ・日常観察等が容易であり、病原菌・有害動物の侵入防止等必要な管理設備を備えていること。
- ・怪我などをしにくい構造であり、適当な飼養スペースが確保されていること。
- ・牛にとって快適な温度域の維持のために暑熱等対策が講じられていること、牛舎内に常に新鮮な空気が供給され、牛の正常な行動に必要な明るさが確保され、騒音が抑えられていること。

北米コンテナ情勢

南西部のロサンゼルス及びロングビーチ港では近港のオークランド港で滞船数が増加していることを受け、抜港した船が押し寄せた結果、こちらでも滞船状況が悪化し、荷役量の増加に伴い本船のスケジュールが乱れ始めています。

北西部では、6月にカナダを記録的な熱波が襲い、港への運搬に使われる鉄道沿線で山火事が発生したため、カナダ産チモシーの出荷に遅延が生じています。

海上運賃は中国発北米向を中心に相変わらず高値圏での推移が続いており、今後はクリスマス商戦の荷役が始まることから、逼迫状況による更なる値上げが懸念されます。

輸入粗飼料

①アルファルファ

(ワシントン産)

主産地コロンビアベースンでは、2番刈、3番刈の収穫が順調に進んでいます。

中国からの買付けは元より、穀物高により米国内の酪農家や肥育農家も代替として給与量を増加させており、西海岸では干ばつの影響でサマーヘイと呼ばれる低成分のものが中心の収穫となっているため、上級品を求める買付けが流入しており、相場を押し上げています。

(オレゴン産)

南部のクラマスフォールズでは天候に恵まれ、上級品が発生していますが、干ばつの影響で散水量の減少を余儀なくされており、結果として生育が例年より1～2週間ほど遅れ、収量も20～40%程度減少しているようです。

中部のクリスマスバレーでは1番刈が降雨被害を受けたため、上級品が限定的となっており、こちらでも他地域からの引き合いが強くなっているため、産地相場は上昇しています。

②チモシー

(US産)

主産地の1番刈は多少の降雨被害があったものの、21年産は大半が中～上級品の生産となっています。

一部では2番刈よりも換金性の高い穀類への転作が進む中、発生が少ない下級品の引き合いが強いため、上級品と下級品の価格差が縮小しています。

(カナダ産)

6月末の1番刈の生育期に49.5度という歴史的な気温を記録したため、1番刈は2～3割の減収となっています。収穫期は天候に恵まれたため、大半が中級品以上となりましたが、自給飼料の不足から内需が強く、相場は底上げされています。

豪州コンテナ船情勢

海上運賃は7～9月期改定で上昇しており、今後の製品価格に影響しそうです。

クリスマス商戦のために空コンテナを中国へ集める動きに拍車がかかっており、今後現地での空コンテナ不足が懸念される中、シンガポールや釜山といった積替港の混雑により頻発する遅延、昨年从未だ妥結しない港湾ストライキと課題は山積しています。

豪州産オーツヘイ

南部・西部の生育は順調ですが、東部は8月の降雨次第で水分不足による単収減の可能性が指摘されています。豪州全体では各地で降雨があったため放牧草は十分で内需は強くありませんが、北米貨物との価格差から豪州へ追加オーダーを発注するケースが増加し、産地価格は均衡状態が続いています。

酪農動向調査について

指導課

令和3年8月1日現在の宮城県酪農動向調査結果をご報告します。

当組合においては生乳出荷戸数240戸、乳牛飼養頭数は10,677頭、1戸当たりの平均飼養頭数は44.4頭となっております。

1年前と比較すると、生乳出荷戸数で15戸が減少しておりますが、1戸当たりの平均飼養頭数は増加しております。

宮城県酪農動向一覧(前年同月比)

(単位:戸・頭)

組合名	令和3年8月1日						令和2年8月1日						比較増減					
	出荷戸数	飼養頭数	経産牛		未經産牛 18ヶ月以上	18ヶ月未 満育成牛	出荷戸数	飼養頭数	経産牛		未經産牛 18ヶ月以上	18ヶ月未 満育成牛	出荷戸数	飼養頭数	経産牛		未經産牛 18ヶ月以上	18ヶ月未 満育成牛
			搾乳	乾乳					搾乳	乾乳					搾乳	乾乳		
みやぎの酪農組合本所	108	4,085	2,630	410	414	631	113	4,214	2,684	425	400	705	-5	-129	-54	-15	14	-74
みやぎの酪農組合仙南支所	94	5,204	2,841	440	645	1,278	101	5,345	2,903	468	668	1,306	-7	-141	-62	-28	-23	-28
みやぎの酪農組合登米事業所	38	1,388	915	156	101	216	41	1,394	913	153	93	235	-3	-6	2	3	8	-19
みやぎの酪農協	240	10,677	6,386	1,006	1,160	2,125	255	10,953	6,500	1,046	1,161	2,246	-15	-276	-114	-40	-1	-121
全農宮城県本部	65	2,667	1,724	244	317	382	70	2,733	1,788	230	296	419	-5	-66	-64	14	21	-37
宮城酪農組合	110	4,456	2,832	416	412	796	115	4,505	2,774	446	467	818	-5	-49	58	-30	-55	-22
宮城県合計	415	17,800	10,942	1,666	1,889	3,303	440	18,191	11,062	1,722	1,924	3,483	-25	-391	-120	-56	-35	-180

表紙を撮影された伊藤さんのご紹介

指導課

蔵王町円田地区で始まった汎用型収穫機によるデントコーンの刈り取り風景をドローンで撮影していただきました。

撮影者は蔵王町遠刈田温泉の酪農家で、昨年度まで青年部仙南支部の部長を務めた伊藤杜夫さんです。伊藤さんのドローン使用歴は長く、これまでも空から収穫作業や見回り、趣味ではバイク、ウィンタースポーツなどの映像を記録するために活用しています。

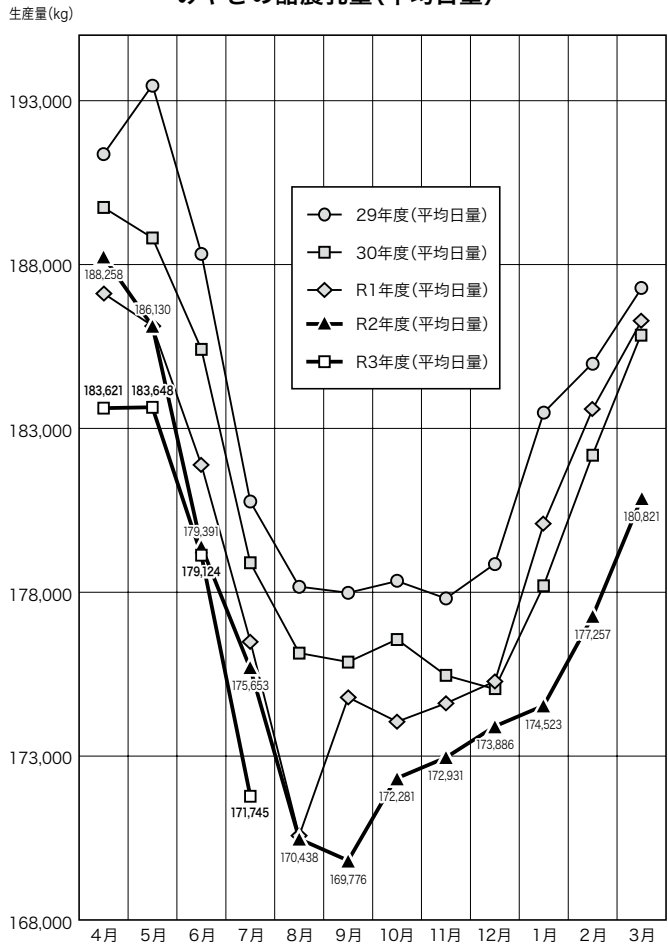
今回の撮影も快く引き受けていただきました。ありがとうございました。



令和3年度 生乳生産実績

販売課

みやぎの酪農乳量(平均日量)



令和3年度生乳生産実績(4月～7月 標準進捗率33.42%)

(単位:kg、%)

支 部 名	戸数	バルク乳量	前年同期乳量	前年同期比	生乳出荷目標数量	進捗率
白石・七ヶ宿支部	23	2,973,061.7	3,076,043.3	96.65	8,965,839.0	33.16
蔵王支部	24	3,004,065.0	2,878,837.3	104.35	8,879,064.0	33.83
柴田支部	14	1,341,199.0	1,429,243.0	93.84	3,937,489.0	34.06
伊具支部	16	1,587,898.0	1,708,980.0	92.91	4,737,268.0	33.52
仙台支部	11	1,249,454.2	1,195,366.0	104.52	3,570,877.0	34.99
名取支部	6	264,527.0	308,485.0	85.75	843,970.0	31.34
黒川支部	6	339,860.0	416,832.0	81.53	1,023,825.0	33.20
大崎支部	19	1,185,671.0	1,180,272.0	100.46	3,521,184.0	33.67
遠田支部	15	2,263,797.0	2,116,773.0	106.95	6,501,185.0	34.82
加美支部	14	684,264.0	847,890.0	80.70	2,466,487.0	27.74
鳴子支部	9	644,349.0	751,623.0	85.73	1,952,610.0	33.00
栗原支部	30	2,232,926.0	2,161,541.0	103.30	6,510,239.0	34.30
登米支部	24	2,523,865.0	2,376,346.0	106.21	7,311,753.0	34.52
本吉支部	15	548,799.0	627,095.0	87.51	1,740,591.0	31.53
石巻支部	5	248,188.0	342,698.0	72.42	811,629.0	30.58
豊里支部	10	807,622.0	826,680.0	97.69	2,460,990.0	32.82
みやぎの酪農	241	21,899,545.9	22,244,704.6	98.45	65,235,000.0	33.57

※出荷戸数については、直近の数字です。

ミルクキャンペーンキャラクター募集のお知らせ

販売課



宮城県牛乳普及協会では、「ミルクキャンペーンキャラクター」を募集しています。令和4年4月1日から令和6年3月31日までの2年間、県内各地で開催されるイベント等での牛乳・乳製品のPRが主な活動です。

ご親族やお知り合いに興味のある方がいましたらご応募お待ちしております。10月21日(木)締切りとなりますので、詳細等は販売課へお伺いください。

【第5回理事会】

開催日 令和3年7月30日

付議事項 第1号議案 固定資産の取得について

【第6回理事会】

開催日 令和3年8月30日

付議事項 第1号議案 固定資産の取得について

第2号議案 令和3年台風8号災害支援について

人事のお知らせ

※発令日令和3年8月1日

区 分	氏 名	新 職	旧 職
正 職 員	富 塚 幸 広	総務課長	購買課長
正 職 員	日 野 裕 治	販売課長	登米事業所長
正 職 員	村 田 孝 志	購買課長	販売課長
正 職 員	石 森 宏 幸	指導課長補佐	指導係長
正 職 員	飯 塚 大 智	販売課牛乳普及係(兼) 販売係(兼)指導課指導係	販売課牛乳普及係 (兼)販売係
正 職 員	佐 藤 敬 庸	仙南支所長代理	仙南支所指導係長
正 職 員	日 下 ふ み 江	仙南支所総務係長	仙南支所業務係長
正 職 員	小 島 学	仙南支所業務係	指導課指導係
正 職 員	高 子 哲 也	仙南支所指導係	仙南集乳所販売係
正 職 員	千 葉 師 義	登米事業所長	仙南支所長代理
正 職 員	細 谷 信 宏	仙南集乳所長補佐	仙南支所総務係長

・令和3年8月31日付け 総務課総務係長 日野直樹さんが退職されました。長い間ご苦勞さまでした。

【機 械】

機 械 名 コーンハーベスター
 メーカー Kemper
 年 式 2014年購入
 価 格 250万円（税込み）
 備 考 2条刈り
 ※当機は加美町で保管しております。



【令和3年度産 2 番草】

販 売 者 鳴子支部 佐々木 純
 品 種 混播
 サ イ ズ 120×130 芯巻
 個 数 60個
 価 格 7,000円/個



【初妊牛】

No.	支 部	販 売 者	区 分	分 娩 予 定 日
1	白石・七ヶ宿支部	(有)ファームイチカワ	性判別	11月 5日
2	白石・七ヶ宿支部	高橋 敦子	性判別	11月 8日
3	白石・七ヶ宿支部	高橋 敦子	性判別	11月16日
4	白石・七ヶ宿支部	(有)ファームイチカワ	交雑種	11月16日
5	白石・七ヶ宿支部	(有)ファームイチカワ	通常	11月22日
6	白石・七ヶ宿支部	(有)ファームイチカワ	通常	12月 3日
7	伊 具 支 部	瀧口 健一	IVF（雄判別）	12月 6日
8	白石・七ヶ宿支部	(有)ファームイチカワ	交雑種	12月21日
9	伊 具 支 部	瀧口 健一	IVF（雄判別）	1月 4日
10	白石・七ヶ宿支部	高橋 敦子	性判別	2月 3日

〔 編 集 後 記 〕

先月、東京オリンピックが閉幕となりました。コロナ渦の開催となり賛否両論ありましたが、オリンピック史上最多数のメダル獲得により、日本中が歓喜に沸いた大会ではなかったでしょうか。また、日本選手で史上最年少となる13歳の金メダル獲得は勇気をもらえました。今後も明るい話題が続くよう祈願するばかりです。

発 行

遠田郡美里町北浦字道祖神前16

みやぎの酪農農業協同組合

TEL.(0229)34-2311(代表)

.....